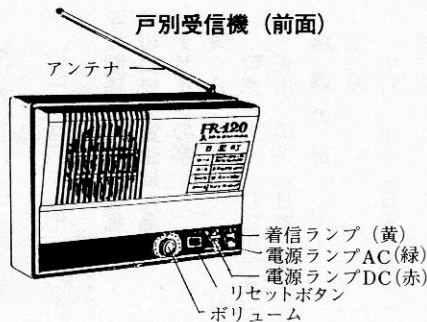


# 無線放送 戸別受信機の電池交換を

昭和六十年十一月に開局した無線放送は、現在、朝夕の二回の定時放送と火災等の臨時放送を行っています。さらに農協や漁協からも随時放送をしています。

各家庭に設置してある戸別受信機には、災害等の緊急時に、停電でも放送が聞けるように乾電池が入っています。停電の場合には自動的に切り換え、約二十四時間の停電に耐えることができます。通常はコンセントから

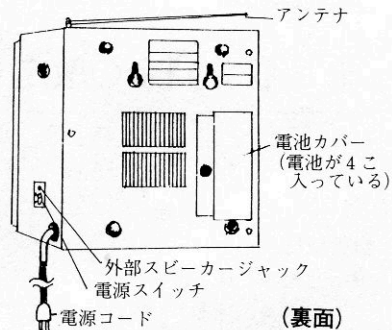


電気で作動しているため電池の消耗はほとんどありませんが電池が古くなると液もれが発生し受信機が腐食するおそれがあります。このため、戸別受信機の中の電池は年に一回必ず交換して下さい。

## 電池の交換方法

- ①単二形乾電池を四本用意する。
- ②電源コードをコンセントから抜く。
- ③戸別受信機を少し持ち上げて壁から外す。
- ④裏側の電池収納蓋についている黒いツマミを引っ張って蓋を開ける。
- ⑤中の電池を取り除き、用意した新しい電池を⊕⊖の表示どおりに入れる。
- ⑥電池収納蓋を閉めて、再び壁に掛ける。
- ⑦赤ランプが点いていることを確認する。
- ⑧電源コードをコンセントに差し込む。
- ⑨緑ランプが点いていることを

確認する。(この場合、赤ランプは消える)  
以上で電池の交換が終わりですが放送が入らないときや雑音が多い場合は役場管理係まで連絡して下さい。

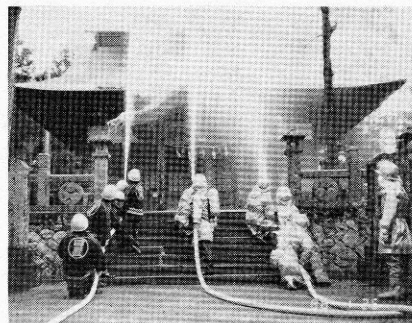


## 日置八幡宮で防火訓練

一月二十六日は文化財防火デー

一月二十六日は文化財防火デーでした。このため、日置八幡宮において、消防署、消防団第一分団、地元関係者の参加による防火訓練が行われました。

訓練は社務所から出火し、おりからの強風により本殿に飛び火したという想定で行われました。地元関係者による初期消火関係者や消防団員による文化財の持ち出し、最後に本殿に放水し訓練を終了しました。



## 電気配線調査詐欺にご用心!

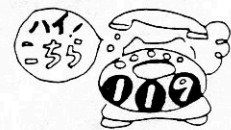
最近、中国電力の職員を装い、電気設備を調査し代金を請求する詐欺事件が発生しています。電気設備の調査等は定期的に行われていますが、調査・点検はすべて無料ですので十分注意して下さい。不審な訪問者がありましたら連絡して下さい。

中国電力長門営業所

☎〇八三七二一―二〇六〇

春の火災予防運動実施中  
(2月29日～3月13日)

## “油断大敵 こんろの消し忘れ”



こんろに天ぷら鍋や、やかん等をかけ、火をつけたまま消し忘れたため発生した火災は全国的にみても毎年火災原因の上位を占めており、当管内でも昭和61年中には6件、昭和62年中には1件発生しています。いずれもちょっとした気のゆるみが原因です。あなたはだいじょうぶですか。

※「消し忘れ」の主な理由 (昭和58年東京消防庁調べ)

他の部屋で仕事をした	17.7%
来客があった	17.2%
テレビを見た	11.3%
外出した	11.3%
電話に出た	11.1%
その他	31.4%

〈消えたかな、気になるあの火もう一度〉

長門地区消防本部・消防署 TEL 長門2-3111  
西部出張所 TEL 油谷2-1230